2023 年度

環境関連の活動とデータ（気候変動以外）

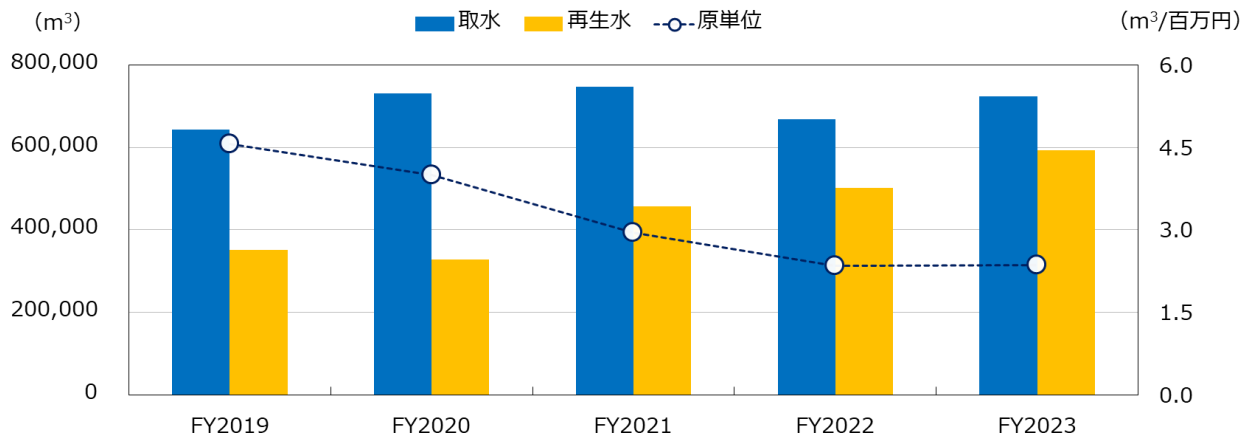
（2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日）

2025 年 3 月 28 日 更新

環境データ

１．取水量と排水量

ディスコグループ全体の取水量と再生水量及び取水量の売上原単位を示しています。水のリサイクルや節水活動に取り組んでおり、近年は売上原単位での減少傾向が見られます。



※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての連結子会社（ただし、取水量が著しく少ない連結子会社は除く）
※2 再生水：排水処理設備で再生した水
※3 原単位：売上原単位（取水量（上水、工業用水、井戸水、雨水）を連結売上高で除したもの）

拠点別の取水量

（単位：m³）

		FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
国内	本社R＆Dセンター, 羽田R＆Dセンター	224,568	200,193	188,595	199,769	218,215
	桑畑工場, 呉工場	303,804	421,625	446,315	326,708	331,819
	茅野工場	16,767	15,767	10,121	13,726	25,013
	その他	1,765	1,422	1,874	2,199	3,964
	国内合計	546,904	639,007	646,905	542,402	579,011
海外	DISCO HI-TEC AMERICA, INC.	4,862	2,355	238	505	478
	DISCO HI-TEC EUROPE GmbH	78,922	79,203	89,094	103,189	113,567
	DISCO HI-TEC (SINGAPORE) PTE. LTD.	3,464	2,101	1,655	3,887	4,459
	DISCO HI-TEC CHINA CO., LTD.	6,000	4,029	5,159	6,080	5,937
	DISCO HI-TEC TAIWAN CO., LTD.	3,075	3,776	2,685	4,249	13,189
	DISCO HI-TEC KOREA Corporation	151	267	245	117	141
	DISCO HI-TEC (MALAYSIA) SDN. BHD.	–	–	7	235	296
	DISCO HI-TEC (THAILAND) CO., LTD.	–	–	1,062	5,525	6,171
	DISCO HI-TEC (VIETNAM) CO., LTD.	–	–	397	1,881	1,178
	海外合計	96,474	91,731	100,543	125,668	145,416
合計		643,378	730,738	747,448	668,070	724,427

※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての連結子会社（ただし、取水量が著しく少ない連結子会社は除く）
※2 拠点毎の上水、工業用水、井戸水、雨水の取水量の合計値を示している

水源別の取水量と排水量

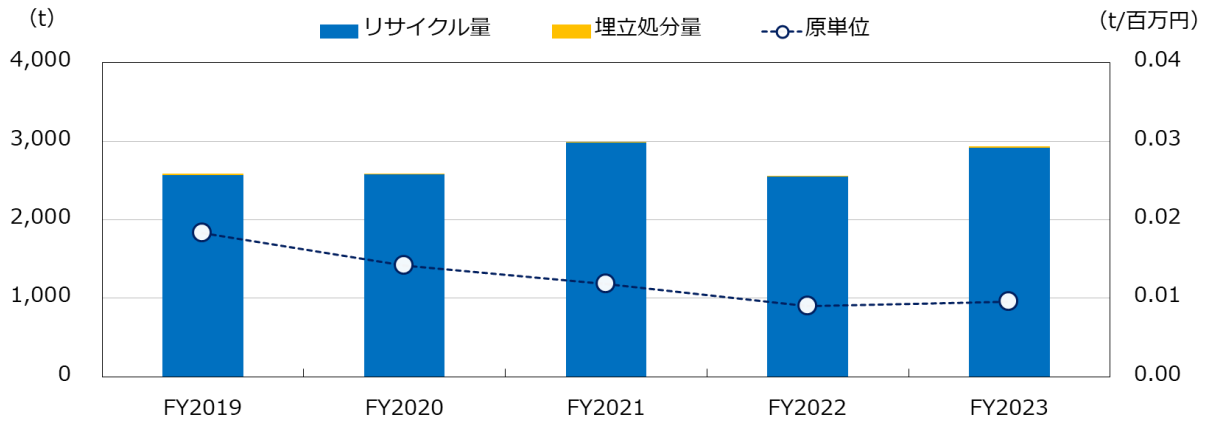
（単位：m^3）

		FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
取水量	上水(水道水)	534,323	605,446	607,338	579,238	648,745
	中水(工業用水)	97,895	118,935	128,198	72,281	61,140
	河川、湖沼からの地表水	0	0	0	0	0
	海水、海を取水源とする水	0	0	0	0	0
	井戸水、掘削孔からの地下水	11,160	6,357	2,664	4,951	6,181
	採石場で採取された水	0	0	0	0	0
	雨水	–	–	9,248	11,600	8,361
	総取水量	643,378	730,738	747,448	668,070	724,427
排水量	海洋	0	0	0	0	0
	地表水(河川、湖沼)	919	781	927	1,200	1,010
	井戸水、地下水	0	0	0	0	0
	外部の水処理場(下水道)	642,446	729,924	719,342	640,379	690,637
	第三者へ提供した水、その他	0	0	0	0	0
	総排水量	643,365	730,705	720,269	641,579	691,647
再生水量		351,590	327,718	457,054	501,958	592,817
リサイクル率(%)		35	31	38	43	45
水ストレス地域における取水量		–	–	5,159	6,080	5,937
取水量の売上原単位(m^3/百万円)		4.56	4.00	2.95	2.35	2.36

※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての連結子会社（ただし、取水量が著しく少ない連結子会社は除く）
※2 排水先は殆どが下水道ですが、一部の拠点では、生活排水を浄化槽で処理した水を河川放流している
※3 下水道への排水量は取水量から製品に含まれる水量と空調設備等での蒸発水量と河川放流水量を差し引いた値と定義
※4 水ストレス地域は世界資源研究所(WRI)が公表している Aqueduct Water Risk Atlas における Baseline Water Stress が「High」以上の地域と定義
※5 リサイクル率：総水量(総取水量＋再生水量)に対する再生水量の割合

2．廃棄物量

全ての生産拠点を含む日本国内での廃棄物量とその売上原単位を示しています。廃棄物の減量やリサイクル活動に取り組んでおり、近年は売上原単位での減少傾向が見られます。また、現状の廃棄物のリサイクル率は 99%を超えています。



※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての国内連結子会社（ただし、廃棄物量が著しく少ない連結子会社は除く）
※2 リサイクル量：埋立処分以外の再生利用分の廃棄物
※3 原単位：売上原単位（総廃棄物量を連結売上高で除したもの）

拠点別の総廃棄物量

（単位： t ）

	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
本社R＆Dセンター, 羽田R＆Dセンター	635	351	402	332	547
桑畑工場, 呉工場	1,859	2,080	2,407	2,037	2,125
茅野工場	–	–	–	174	247
その他の国内拠点	91	154	181	9	11
合計	2,585	2,585	2,990	2,552	2,930

※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての国内連結子会社（ただし、廃棄物量が著しく少ない連結子会社は除く）
※2 2022 年度以降、茅野工場をその他の国内拠点と分けて表記

廃棄物量とリサイクル率

（単位： t ）

	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
有害廃棄物量	345	173	242	162	247
埋立処分量	15	9	12	7	15
リサイクル量	2,570	2,576	2,978	2,545	2,915
リサイクル率(%)	99.4	99.7	99.6	99.7	99.5
廃棄物量の売上原単位(t/百万円)	0.0183	0.0141	0.0118	0.0090	0.0095

※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての国内連結子会社（ただし、廃棄物量が著しく少ない連結子会社は除く）
※2 有害廃棄物：日本の廃棄物処理法に基づく特別管理産業廃棄物のこと
※3 リサイクル率：総廃棄物量に対するリサイクル量の割合

３．化学物質の排出

全ての生産拠点を含む日本国内での PRTR 法に基づく化学物質の排出量を示しています。2023 年度は生産等で使用する物質のうち 6 物質が PRTR 法の届出対象となっています。

PRTR 法対象の化学物質（2023 年度）

（単位：kg）

	指定化学物質名	ニッケル化合物	フェノール	ほう素化合物	塩化メチレン	炭化けい素	マンガン化合物
排出量	イ. 大気への排出	–	199	–	2,456	–	–
	ロ. 公共用水域への排出	–	–	–	–	–	–
	ハ. 当該事業所における土壌への排出（ニ. 以外）	–	–	–	–	–	–
	ニ. 当該事業所における埋め立て処分	–	–	–	–	–	–
移動量	イ. 下水道への移動	379	–	815	–	3,946	–
	ロ. 当該事業所の外への移動（イ. 以外）	146	–	–	90	27,790	200

※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての国内連結子会社
※2 日本の PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)法に該当するもの

４．排水の水質管理

多くの水を使用する開発及び生産拠点では、事業活動に伴って排出される水を社内の廃水処理設備で浄化した後、下水道へ放流しているため、定期的に排水の水質を監視しています。

水質測定結果

項目	下水道法の規制基準値	測定結果 本社・R&Dセンター FY2021	FY2022	FY2023	呉工場 FY2021	FY2022	FY2023	桑畑工場 FY2021	FY2022	FY2023	茅野工場 FY2021	FY2022	FY2023
pH	5～9	7.7	7.8	7.1	7.2	7.7	7.5	7.0	6.7	7.4	8.2	8.5	7.5
BOD	600	37	65	96	25	16	20	12	42	21	230	86	228
浮遊物質量	600	47	121	244	120	165	253	87	71	180	83	128	118
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油類)	5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1
n-ヘキサン抽出物質(動植物油類)	30	ND	ND	ND	2	0.8	1.1	2.5	2.4	0.6	6	9	9
カドミウム	0.03	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
シアン	1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
鉛	0.1	ND	ND	0.04	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
クロム	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
六価クロム	0.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
砒素	0.1	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
銅	3	ND	ND	0.4	0.01	0.02	ND	0.01	0.02	ND	ND	ND	ND
亜鉛	2	ND	ND	0.1	0.17	0.18	ND	0.34	0.5	2	ND	ND	ND
溶解性鉄	10	ND	ND	ND	ND	ND	1	ND	ND	ND	ND	ND	ND
溶解性マンガン	10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
弗素化合物	15	ND	ND	ND	9.2	0.4	3	0.6	2.1	2.5	ND	ND	ND
ほう素	230	ND	ND	ND	16	6	8	7	11	17	ND	ND	ND
全窒素	150	19	13	14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	70	38	49
沃素消費量	220	6	6	19	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

※1 集計範囲：下水道法に基づいて水質測定を行っている拠点（本社・R＆D センター、茅野工場、呉工場、桑畑工場）
※2 単位は pH を除き、[mg/L]
※3 ND は定量下限未満又は含有が無く測定対象外の項目を示している
※4 年間に複数回の水質測定を行っている場合はその平均値を記載している

水関連の支出額（2023 年度）

（単位：百万円）

支出額	
水関連の投資額(CAPEX)	819
水関連の維持管理費(OPEX)	17
水関連の研究開発費	48

※1 水関連の投資額(CAPEX)：水の浄化やリサイクルなどを目的とした設備投資費と定義
※2 水関連の維持管理費(OPEX)：社内の廃水処理設備の操業費と定義
※3 水関連の研究開発費：水関連のリスクを抑制するための研究開発費と定義

5．環境法の遵守状況（2023 年度）

環境法の遵守状況		
大気関連	法令違反件数	0
	罰金額(百万円)	0
水質関連	法令違反件数	1
	罰金額(百万円)	0
騒音・振動関連	法令違反件数	0
	罰金額(百万円)	0
悪臭関連	法令違反件数	0
	罰金額(百万円)	0
土壌関連	法令違反件数	0
	罰金額(百万円)	0

※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての国内連結子会社

6．環境マネジメントシステム(ISO14001)認証状況

区分	取得数	認証取得率
ディスコの生産拠点	3	75%
ディスコの非生産拠点	3	38%
サプライヤー	176	55%

※1 集計範囲：生産拠点(4 拠点)、小規模な営業拠点を除くその他の非生産拠点(8 拠点)、及びディスコ製品の製造に関わる調達額の 99%以上を占めるサプライヤー（320 社）
※2 生産拠点では、呉工場・桑畑工場・茅野工場の 3 拠点が認証を取得している
※3 非生産拠点では、DISCO HI-TEC(SINGAPORE)PTE.LTD.、DISCO HI-TEC EUROPE GmbH、DISCO HI-TEC CHINA CO.,LTD が認証を取得している
※4 サプライヤーの取得数は毎年アンケート調査を行って確認している

活動

１．廃棄物の削減

ディスコでは循環型社会の構築を目指し、廃棄物の削減対策に積極的に取り組んでいます。1997 年に広島事業所へ廃棄物計量システムを導入して以降、現在では、国内のすべての拠点において廃棄物の計量管理を実施しています。計量管理を通して、各部署の廃棄物量を把握し、減量と分別を徹底することにより、資源の有効活用を実現しています。

廃棄物削減活動の一つとして、かつて広島事業所における廃棄物の 50%以上を占めていためっき廃液の排水処理装置を導入（2001 年 10 月）しました。この装置は重金属の凝集沈殿工程、汚泥脱水・回収工程を備えており、年間約 120 トンの重金属汚泥のマテリアルリサイクルを可能にし、希少資源の有効利用に大きく貢献しています。

２．水資源の有効活用

ディスコの生産及び開発拠点では、多くの水を使用するため、全ての工場及び本社・R＆D センターなどの水の使用量が多い拠点では、排水を処理して再利用するリサイクル設備を導入し、上水の取水量を削減しています。なお、国内外の拠点の水ストレスについて、Aqueduct Water Risk Atlas(世界資源研究所が公表している水リスク評価ツール)を使って評価した結果、中国の 1 営業拠点のみが水ストレス地域に該当しています。現在まで、渇水などの水リスクに晒されたことはありませんが、テストカットサービスなどで比較的多くの水を使用する営業拠点(アメリカ、中国、ドイツ、大阪など)についても水リサイクル設備を導入し、節水を図っています。

また、断水は事業継続におけるリスクであるため、上記のような水のリサイクル設備の導入に加えて、生産拠点では地下貯水槽や井戸を設置し、断水時でも生産を約 10 日間継続可能な体制を構築しています。

その他、全社対象の目標管理活動の一環として、毎年、経費削減活動に取り組んでおり、その達成度合いは賞与にも反映されますが、この活動の中で水道光熱費の削減に対して大きな重み付けをすることで、水やエネルギーの削減活動を活性化しています。

３．緑地保全活動と緑の認定

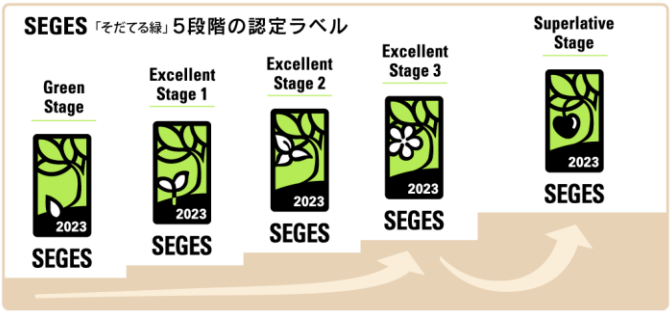
ディスコでは環境方針の一環として生産拠点の緑化を進めています。地域の自然環境との一層の調和を目指し、グリーンクラブ（百数十名で活動）を中心にして、生物多様性を保つ緑地の保全活動を行っています。この活動が認められ、桑畑工場と茅野工場は SEGES 認定（そだてる緑）を取得しています。また、自社の緑地だけではなく、広島県や呉市などの自治体と共同で毎年地域の森林整備や植樹といった保全活動も行っています。こうした継続的な緑化活動や地元の里山保全活動を通じた地域貢献等が評価され、2020 年度には桑畑工場が「みどりの社会貢献賞」を受賞しました。

豊富な緑地に囲まれた桑畑工場

地元の里山での森林整備と植樹活動

※SEGES（社会・環境貢献緑地評価システム）

SEGES は企業等によって創出された良好な緑地と日頃の取り組みを評価し、社会・環境に貢献する良好に維持された緑地であることを認定する制度です。SEGES 認定には 5 段階あり、現在は桑畑工場にて「Excellent Stage 3」を、茅野工場では「Excellent Stage 2」を取得しており、今後の更なるステージアップを目指しています。



出典：SEGES Web サイトより「そだてる緑」5 段階の認定ラベル https://seges.jp/schema.html

Excellent Stage3 認定証(桑畑工場)

みどりの社会貢献賞